

R-18  
FOR ADULT ONLY

光ういこと  
××××  
してハハハハ





あやつが我を見る瞳は  
まるで幼子おんなこのそれだ

親愛のそれだ  
親を頼る眼差しだ

それが  
ただただ  
苛立たしい





今は  
触らせて  
もらえてる…



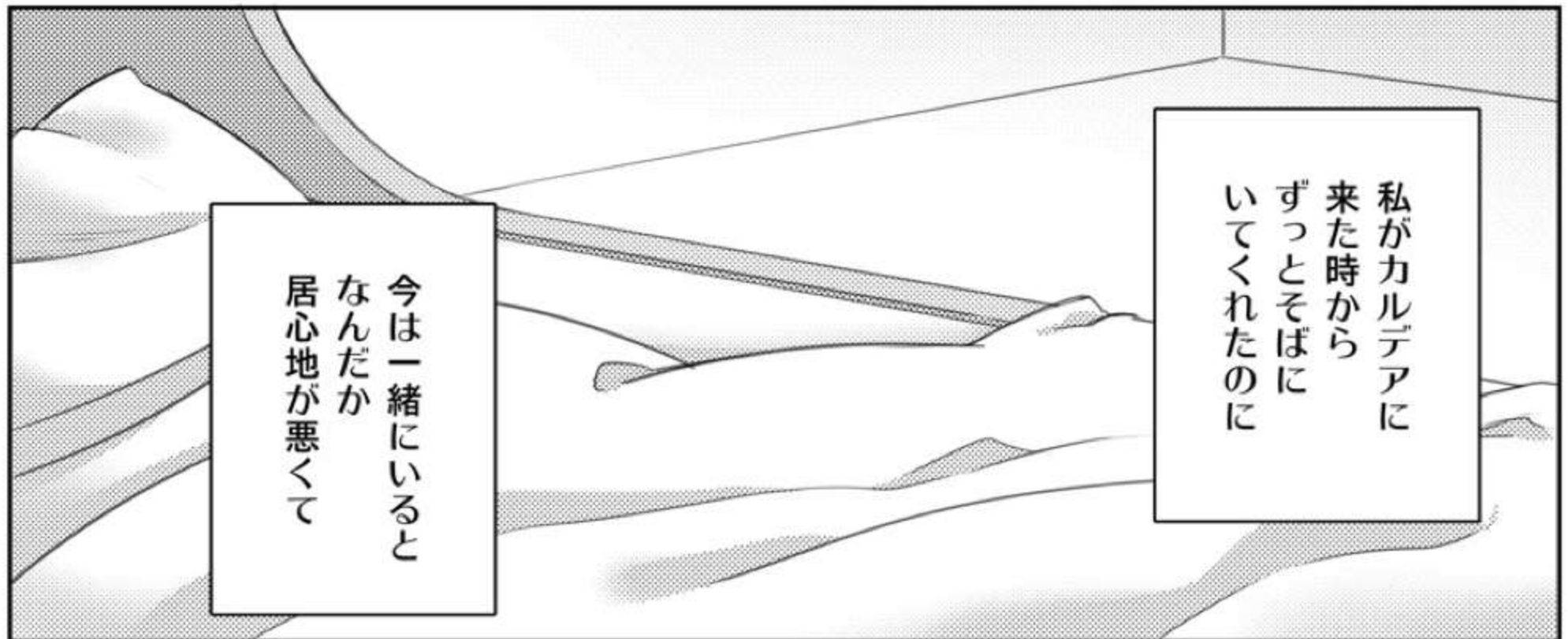
あのとき  
掴めなかった手

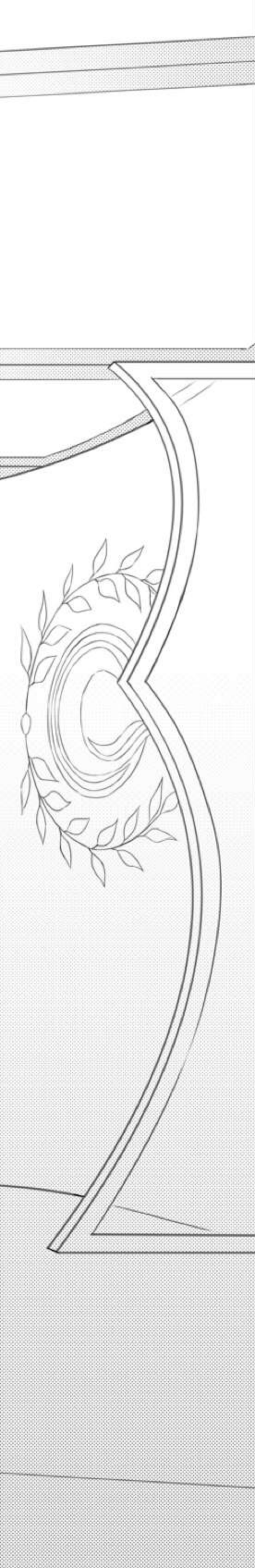


こうして  
熟してゆく様を  
眺めるのも  
なかなか  
よいものだな



カルデアにきて  
久しいが





マイルーム  
でも

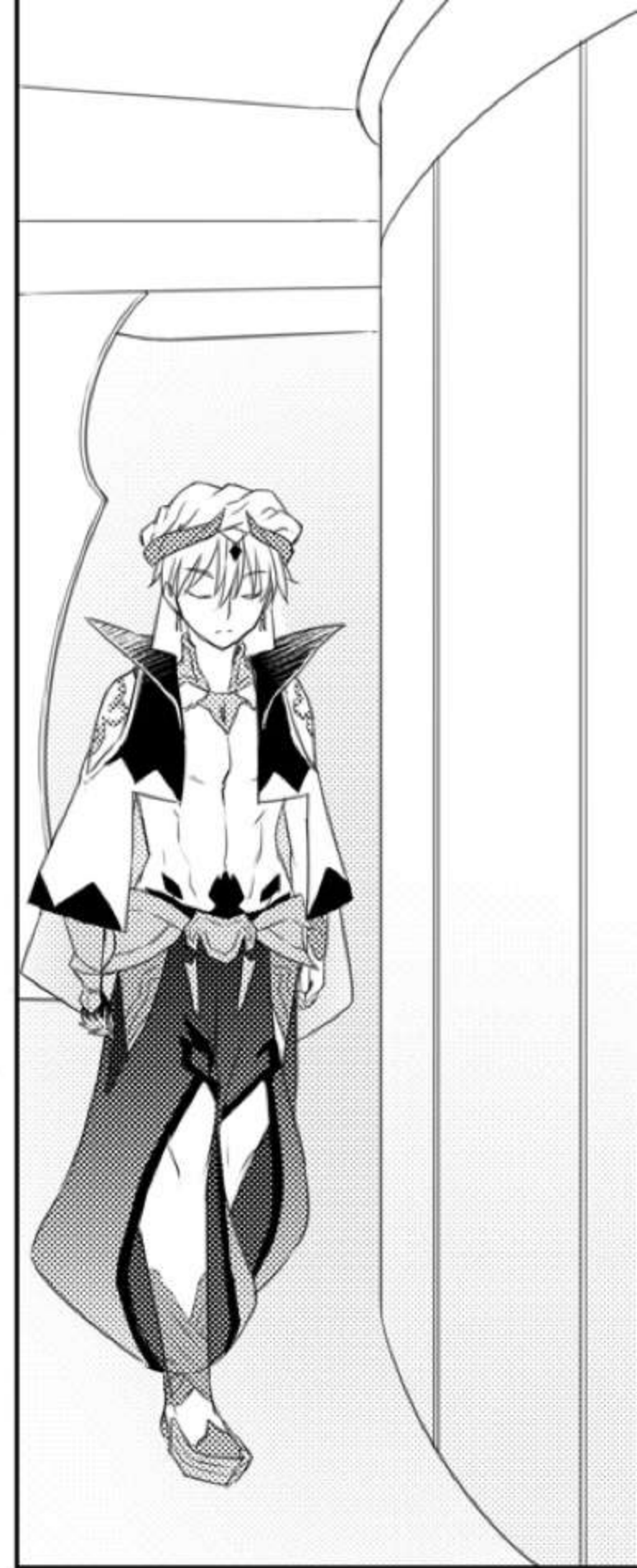
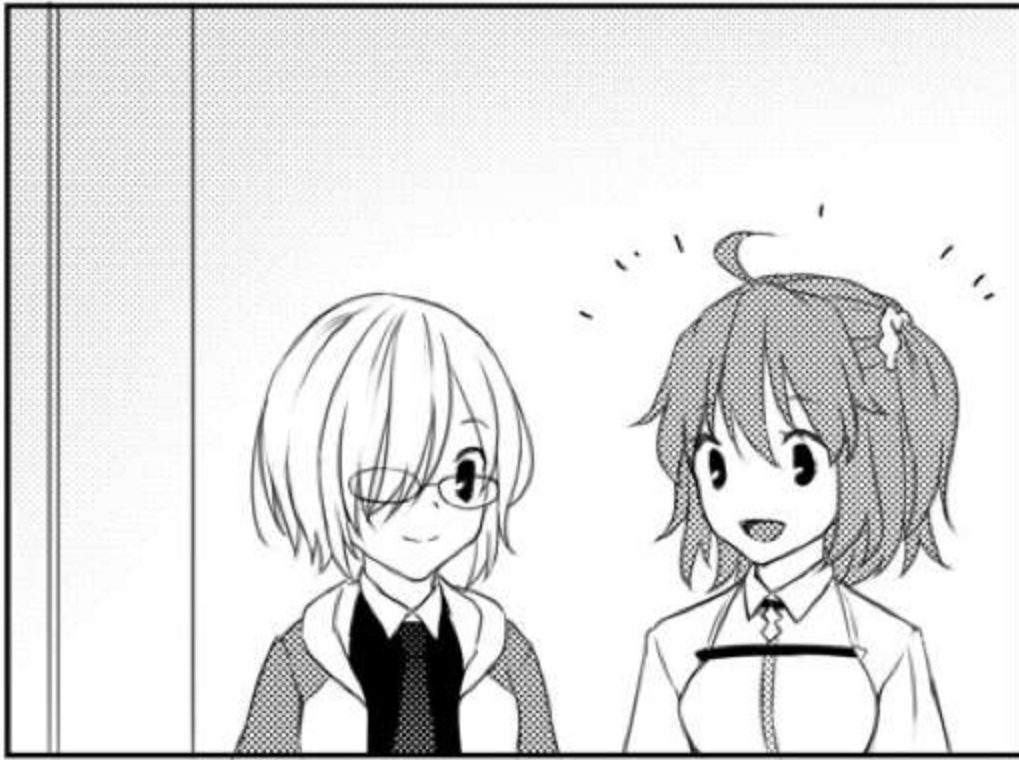
王様はなにも  
変わらないのに



レイシフト  
先でも



どうして  
なのかな…







あれ？  
王様もう来てた  
んですか？

ゴイ

うむ

はあー

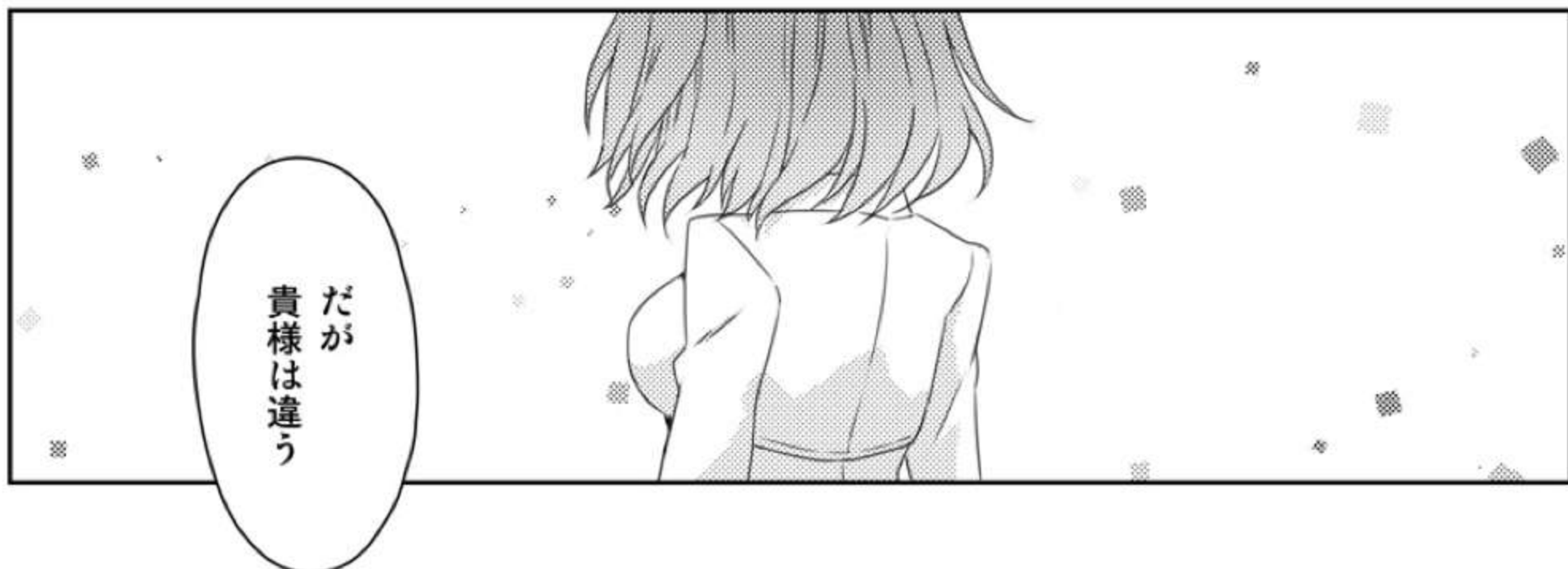
しかし貴様  
なんとあられもない

他の男の前でも  
そんな格好では  
あるまいな

入浴中に  
勝手に入ってきて  
無茶言わないで  
ください

他の人たちは  
みんな入室前に  
確認してくれますよ

王様だけです!!



貴様は個人的な  
願望を持っておらん

人理修復は  
カルデアの悲願であり  
貴様のものではない

何も知らず  
何も望まず

ただ令呪を持つだけの  
傀儡のごときマスターよ



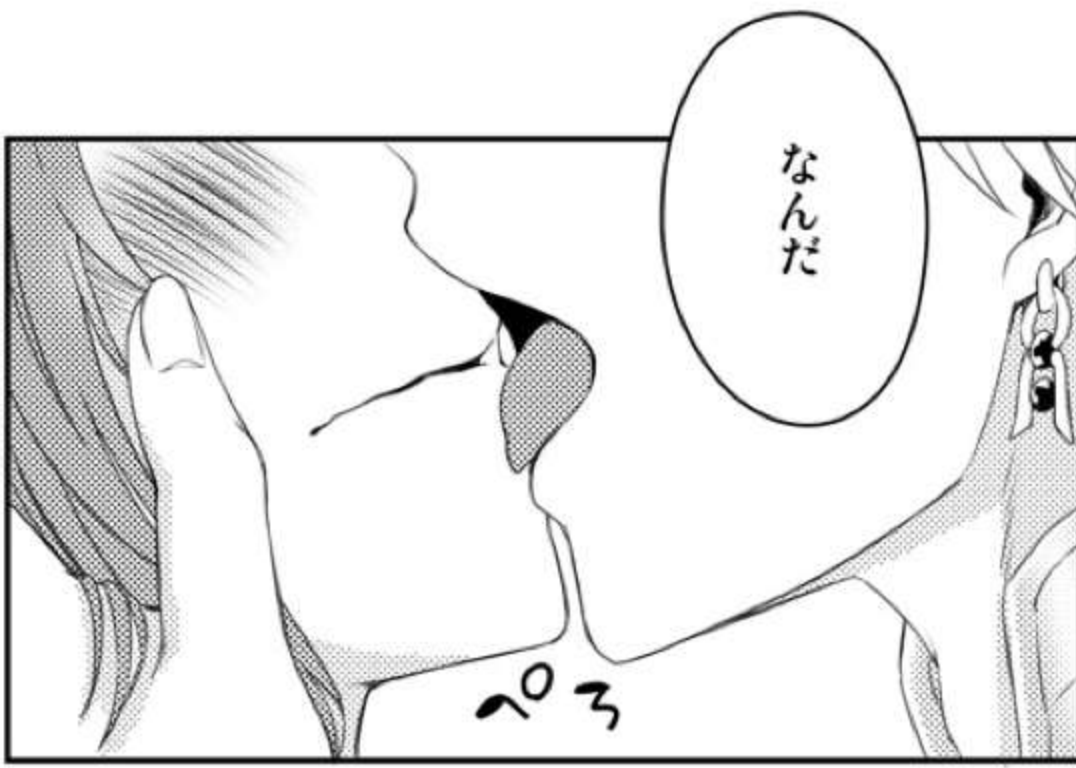
貴様

遂に我を欲したな？



だが我は見たのだ  
貴様の瞳の奥に  
欲望の光を







待って  
まつひえ

私はマスターで  
人間なんですけど

こんなこと  
していい  
んですか？

おう<sup>王</sup>ひ<sup>様</sup>や<sup>ま</sup>

ちゅく



なるほど



はい

欲望を覆っていた  
疑問の眼差しは  
それであったか



よいよい  
稀に答えてやろう  
ではないか

こんなことを  
していいの  
かであったか？

ほ…

さて貴様の言う  
「こんなこと」とは  
なんだ？

情を交わすとあれば  
魔力供給という名目の元  
特に珍しくもない



そのくらいは  
貴様でも知識が  
あろう？



え…あ……  
そうですね

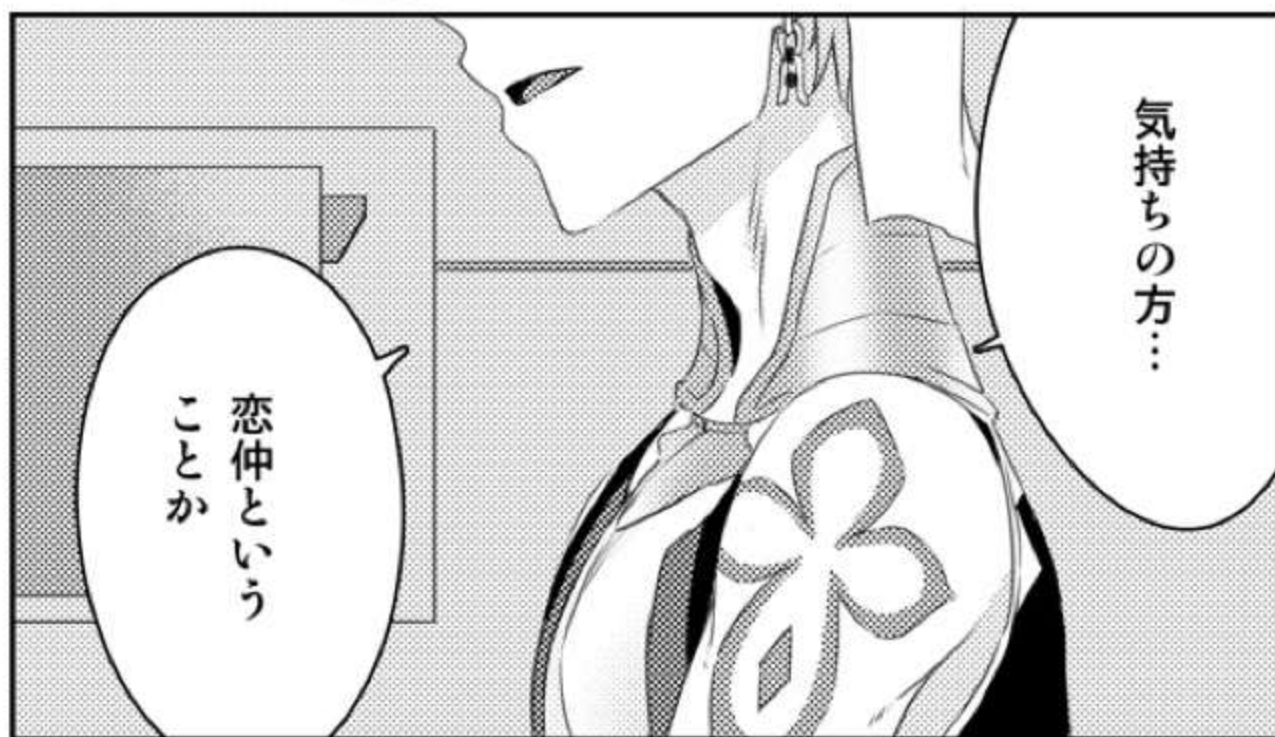
もっと気持ち  
の方というか…

これ魔力供給  
じゃないですし…



気持ちの方…

恋仲という  
ことか



マスターと  
サーヴァントが  
恋仲になるのも  
今や珍しくはないが

もしも貴様が  
この世界の制度に則り  
婚姻をし  
子を産み育て

共に年をとり  
同じ墓に入りたい  
と申すなら

今すぐに叶えて  
やる事はできぬな





なれば全ての  
憂いは消えたか？

今ならなんでも  
答えてやろう



かあああッ

けっこん！

いやそんな！  
そんなことは  
思っていないです！

ふむ



貴様！ 王たる  
我にその問いに  
答えろと！

なんでもいって  
言ったじゃん！

ギョッ

ギョッ



好き…？

王様は  
私のこと

あ…えつと  
じゃああの

もじ…



うむ言った  
確かにな

王たるもの  
約束は違えぬ  
仕方あるまい

立香

とぎ

ちゅ

我は貴様を  
気に入っておる

好いておるぞ  
立香



それはあの時  
手を取れなかったから  
だと思ってたんだけど



…私、最近王様こと  
まっすぐ見られなくて



我にここまで  
言わせたのだ  
貴様の胸の内も  
聞かせて  
もらおうぞ？



でも違ったみたい

王様を見てると  
胸が苦しくなって  
目をそらしちゃうのは

王様のこと  
好きだから……

なのかな？



ふん

貴様のせいで  
とんだ茶番になって  
しまったではないか



茶番ついでに  
教えてやろう



今度は口を開けら  
れたではないか



貴様の瞳に  
欲を見たのは  
本当だが

要は  
我が貴様を  
抱きたいのよ



ゆえに  
却けることは  
赦さんぞ



私も王様と  
したくない訳じゃない  
ですからね？

かああ



賢王さま  
誤解のないように  
言っておきたい  
のですけど…

ちゅ

ん



うむうむ  
わかっておるとも

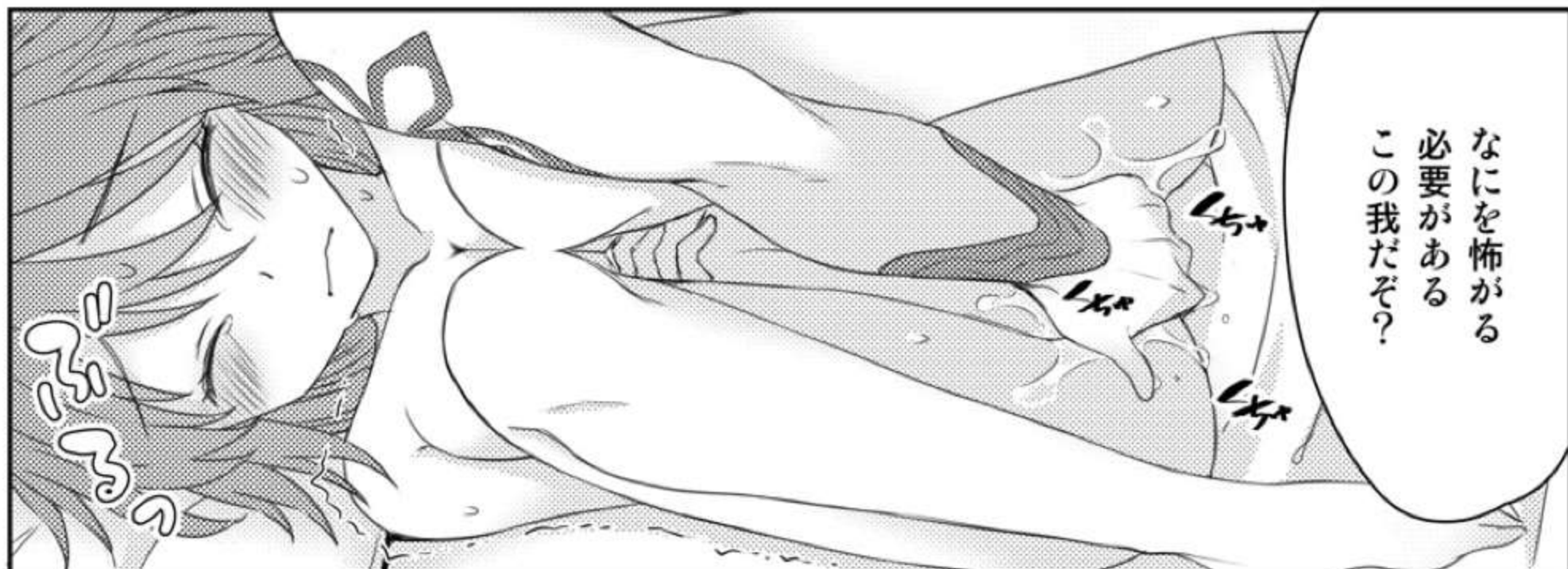




やっぱり  
こわい…!



ひえっ…!?



なにを怖がる  
必要がある  
この我だぞ?



我にしがみ  
ついておけ

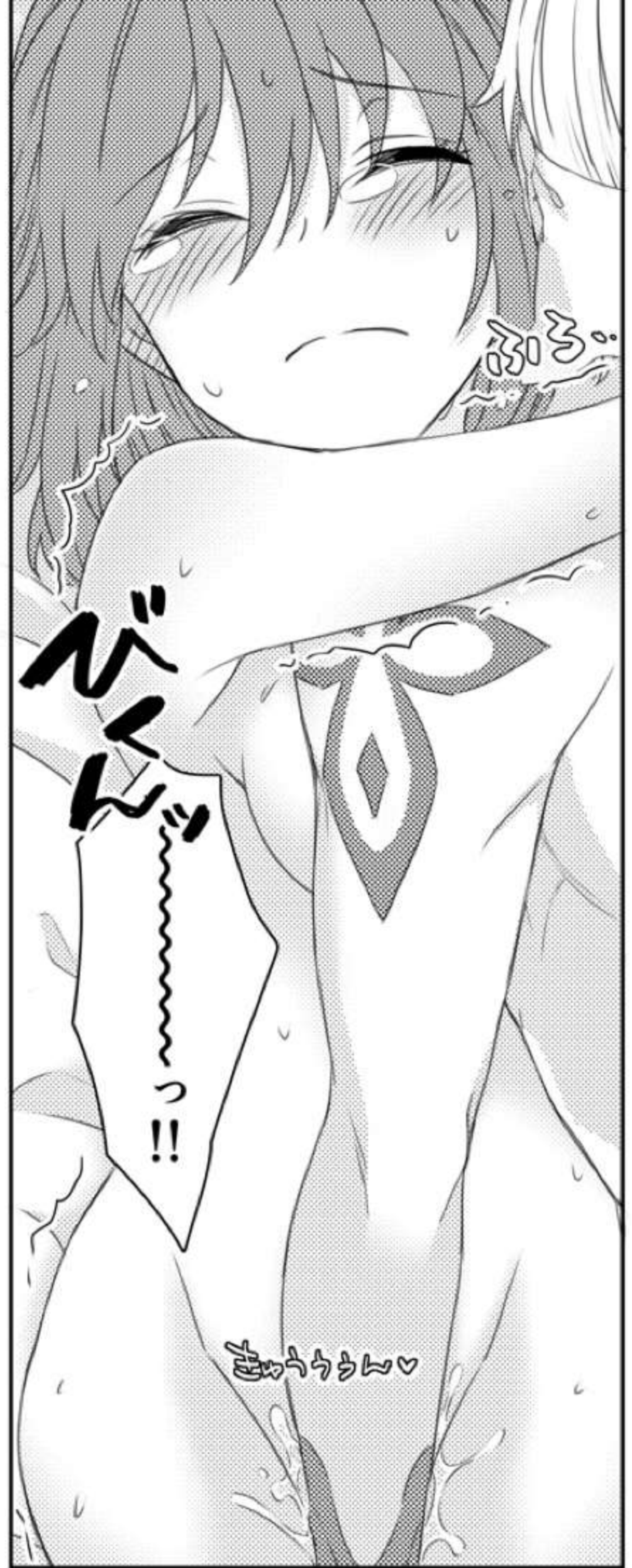


そんなに  
怖いならば  
しゅ

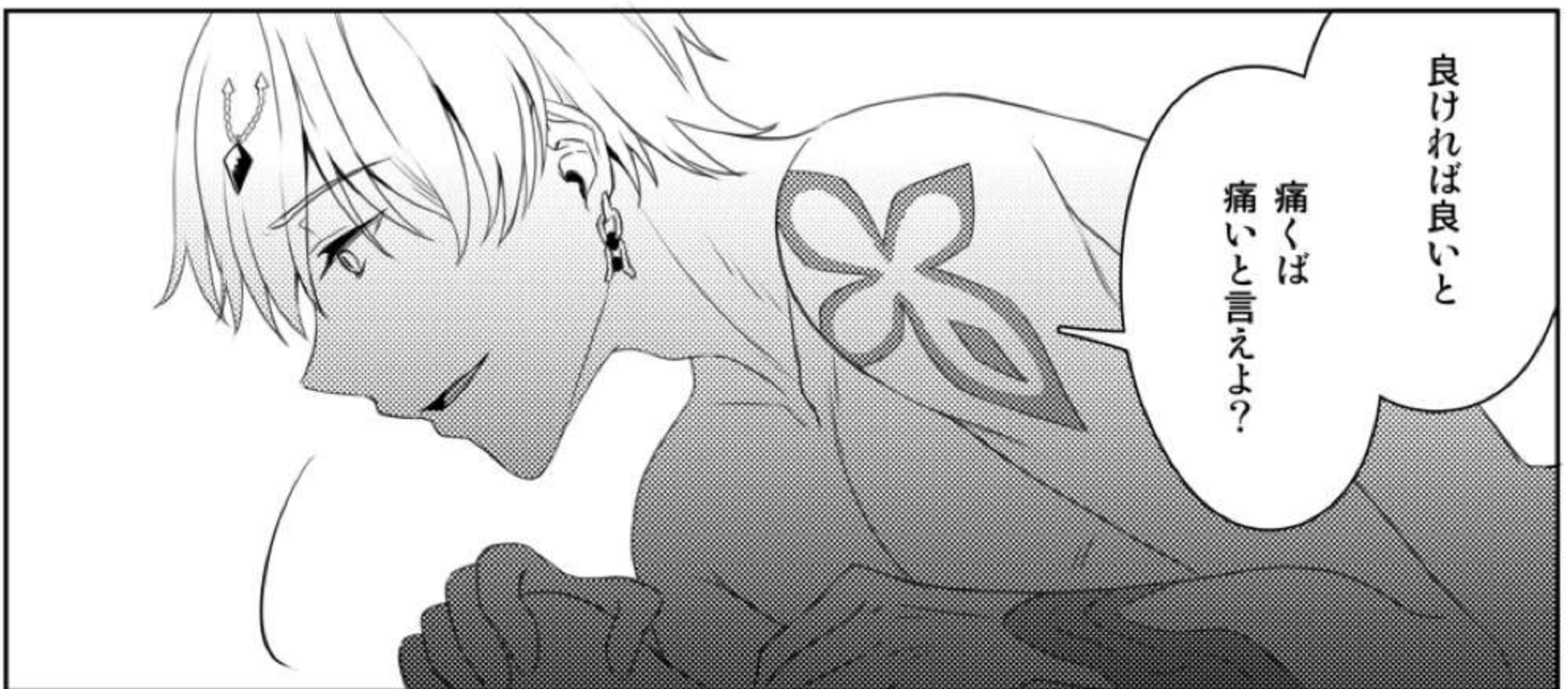




よしよし  
うまく達せた  
ではないか



だがここからが  
肝要だぞ？



良ければ良いと

痛くば  
痛いと言えよ？





えっ?  
王様?

ま、まさか

ぶっ

すーすー

ん?!  
そ...それを  
入れるってこと  
なの?!



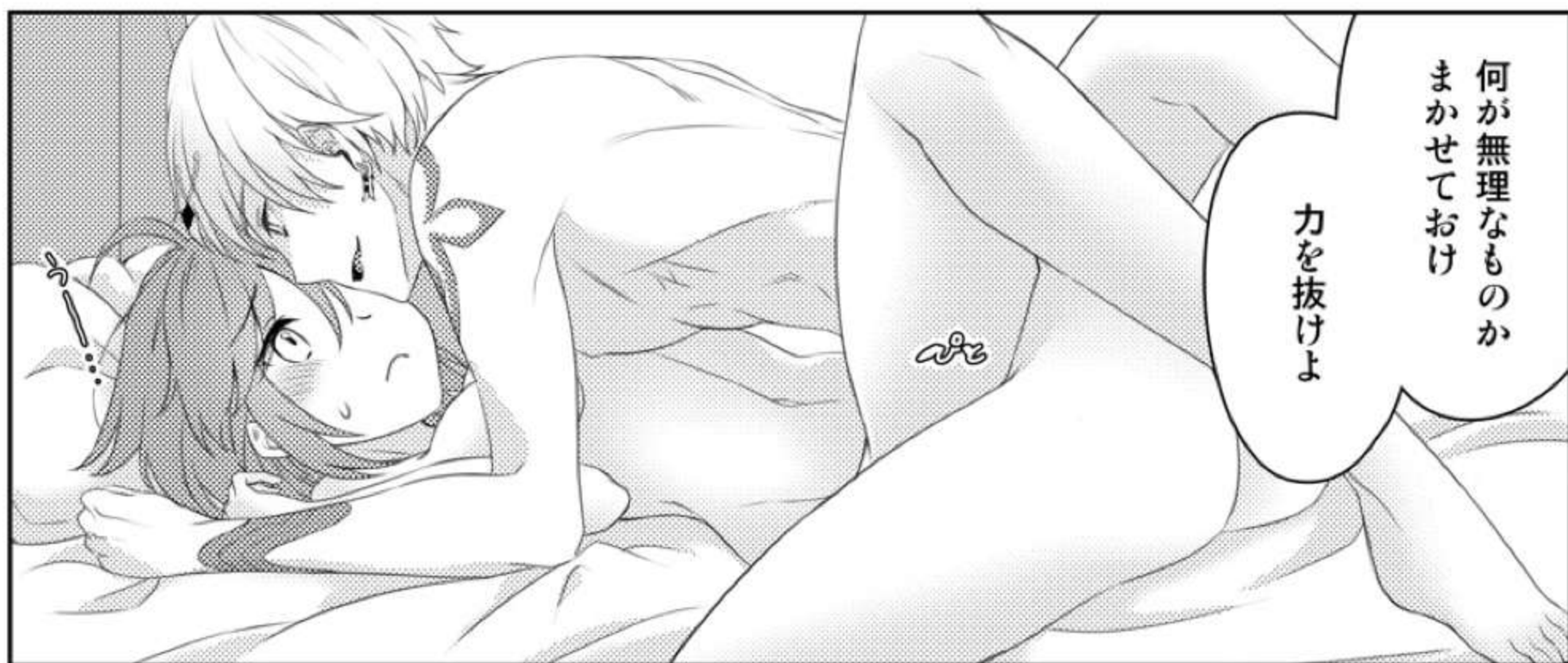
ちゃっ

ほう...  
それは重畳



無理!!  
絶対無理です!

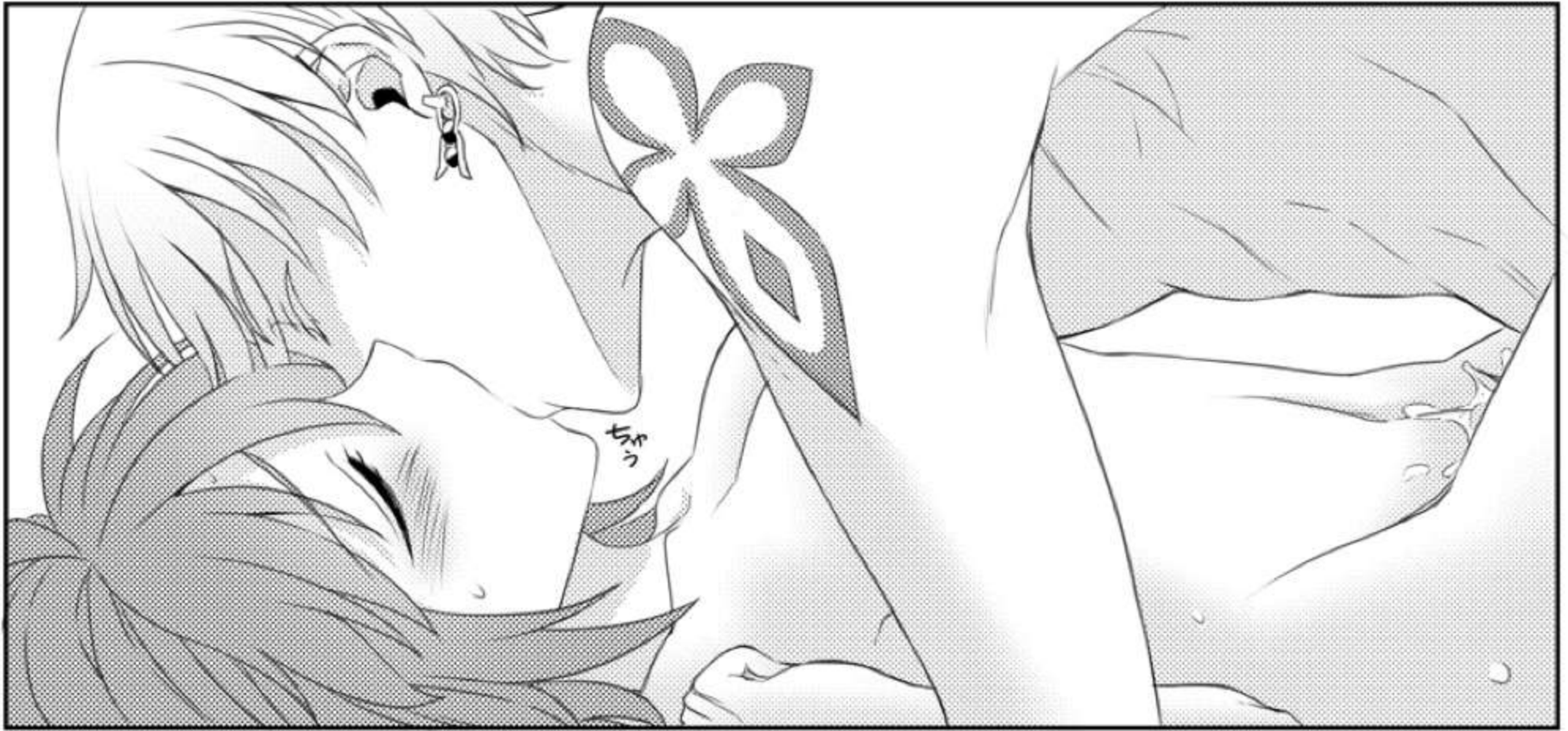
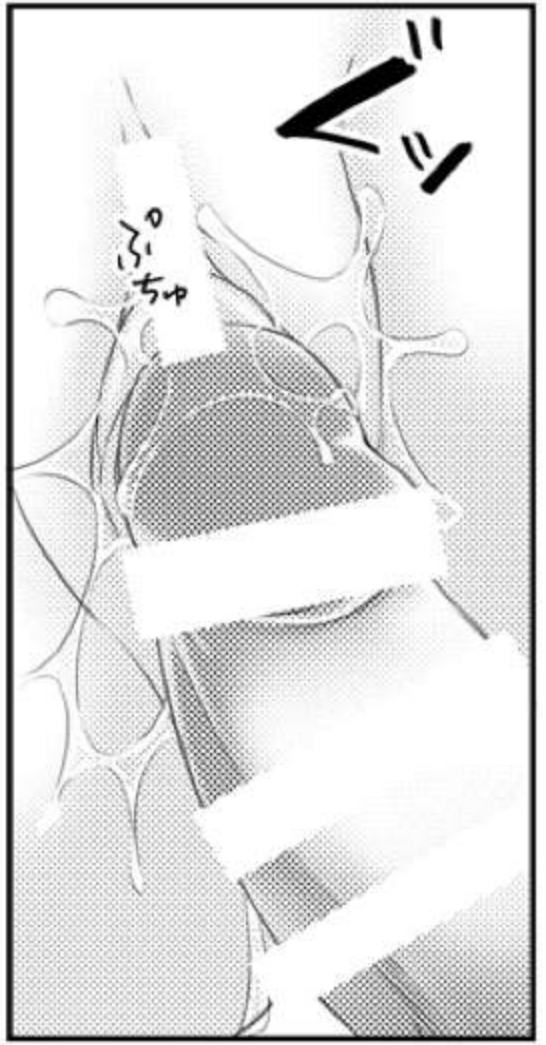
初めて  
なのにつ!



何が無理なものか  
まかせておけ

力を抜けよ

あ





そら  
全部入ったぞ

は  
は



あのととき抱いておけば  
こんなことには  
ならなかったものを

ナゾ

?



はあ

しかし  
遂に我のもの  
となったか



痛くなど  
なからう？

ギ  
ヂ  
ッ

きゅん







あ...う...

くた...!!



ん?  
どうした

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ものたりぬ  
のか?



び...



びび

カツは



びび

びび



ぐちゃぐちゃ

あ

ぐちゃぐちゃ

はっ

ぐちゃぐちゃ

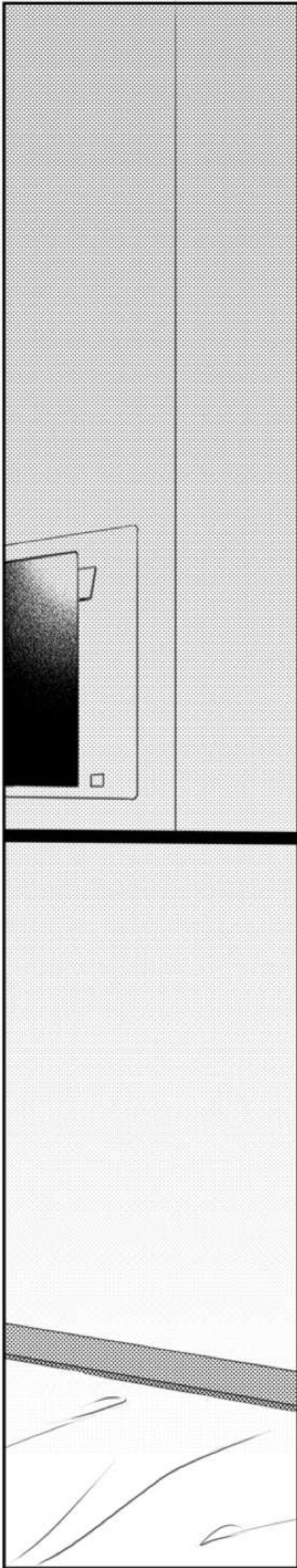
ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ  
ぐちゃぐちゃ  
ぐちゃぐちゃ









貴様が欲した時点で  
全ては我の物よ



あきらめよ



貴様が熟すまで  
待ってやっただけでも  
光栄に思えよ？



王様

さっきの  
お話し……

なんだ

ああ

大して面白い  
話でもないぞ？



貴様を  
抱いておけば  
よかったです

!?



貴様がウルクを  
去ったあと

我は冥界にて  
ただ……



仕方がなく  
四六〇〇年先の  
カルデア下りまで  
来てみれば

貴様はまだ  
第七特異点を  
修復しておらんとは

故にその瞳に  
欲望が灯るまで  
傍らにいたまでよ

なかなか  
健気であらう？



そっ

そんな理由で  
召喚に応じてくれて  
いたなんて……

うそでしょ……

貴様！  
ここは感涙すべき  
ところであらうが！



でも  
どんな理由でも  
召喚に応じてくれて  
感謝しています

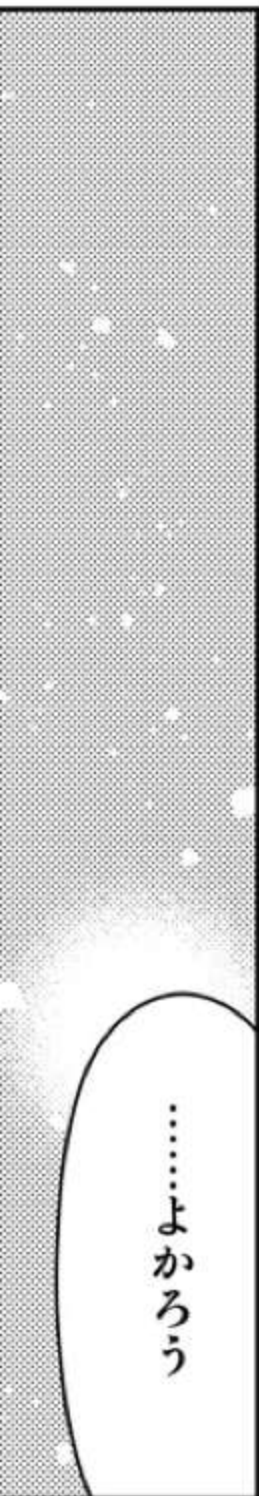


ありがとう  
王様

これからも  
よろしく  
お願いします



……よかろう





王は約束を  
違えぬ

貴様の瞳に  
その光が灯るうちは

傍らにいてやろう

おくづけ

発行日：2019/02/24 発行：Winter Garden URL：www.wintergarden.net

TwitterID：chifumi PIXIVID：6446 印刷：ねじのじっほ様

18歳未満の購入、閲覧の禁止、無断転載、複製、アップロード等を禁止させていただきます